

2021年11月4日

合格体験記

1. はじめに

みほと申します。この合格体験記は、母校に寄稿したものに加筆・修正をしたものです。文章が稚拙だし、あまり優れた内容ではありませんが、せっかく頑張って書いたので、多くの人に読んでいただければと思い、公開することにしました。

まず、軽く自己紹介をさせてください。私は、某国立大学の言語文化学科に所属している大学1年生です。大学では英語を勉強しようかと思っています。高2の時は物理選択でしたが、いろいろあって私立文系コースに進みました。その後もいろいろありまして、結局某大の文系学科に入りました。特殊な例だと思うので、あまり参考にならないかもしれません。

この先を読めば分かると思いますが、私は本当にダメな受験生でした。「ま、こんな人も居たんだな」くらいに思ってもらえればいいと思います。

2. 受験校を考えるときの注意点

憧れの大学があればそこを第一志望にするべきですが、私みたいに特別行きたい大学が無い場合は、試験科目や配点を重視して選んでもいいかもしれません。

国公立は、本当にいろいろ検討しました。偏差値やボーダー得点率だけではなくて、共通テストと2次の比率や、2次の科目・配点を重視するべきです。私大の場合も、偏差値だけで選んではいけません。大学によっては、試験方式が複数あったりします。日程だけでなく、試験内容が大きく違ったりするので、注意して情報を集めてください。

前期で受けた某大の言語文化学科の2次試験は、自分が得意な英語と国語だけなので、私にとって非常に有利でした。千葉大や外大も検討したのですが、某大の試験科目の方が私にとって都合が良かったので、某大を受けました（もちろん、他にも理由はありますが）。

私大に関しては、なんとなく、情報の教員免許を取得できる大学を中心に受けました。主に情報科学科や数学科で取得できるようですが、文系でも取得できる大学があります。また、入った後で苦労しそうなのであまりオススメできませんが、数Ⅲをやっていなくても、情報科学科に共通テスト利用で入ることができます。私は文系ですが、津田塾の情報科学科に共通テスト利用で合格しました。

3. 反省点

一つ目。共通テストの前に私大の一般入試の出願をしてしまったことです。共通テストの結果次第で、受けるべき私大が変わってくるかと思います。ただし、大学によっては、一般の出願をすれば共通テスト利用が安くなる（or タダになる）場合がありますので、要注意。

二つ目。試験直前期に生活リズムが崩れ、なかなか戻らなかったことです。共通テストの

ときは、5時間くらいしか眠れませんでした。2次するときも酷かったです。生活リズムが一度崩れると本当に大変ですから、崩さないように気をつけてください。

三つ目。試験が終わったあと、寄り道をしたことです。試験直後はハイになって疲れを感じなかったのですが、体は間違いなく疲れています！ ゆっくり休んでくださいね。

四つ目。日本史の通史が終わらなかったことです。共通テストでは75点でした。最後の2週間で一気に詰め込んだ地理は74点だったので、勉強量を考えると本当に悲しい。

4. 科目・分野別のアドバイス (?)

【英単語】他教科の対策に追われていたので、比較的得意だった英語は、共通テストが終わるまで放置。で、共テが終わった後、慌ててターゲット 1900 を始めました。1語1訳なので進めやすいです。覚えられたのは1700くらいまでで、それ以降は諦めました。

【英文法】Vintage に何度も挑戦しましたが、結局挫折しました。だから何も言えません。

【現代文】共通テストの直前期に、現代文が不安だったので「きめる！」を2周くらいやりました（本当は、直前期にやるものではないと思いますが）。その後、「現代文読解力開発講座」をやりました。1周目はそんなに難しいとは思いませんでしたが、2周日以降すごく難しく感じました。読み方が変わったのだと思います。結局、きちんと読めるようになったのは5題目までで、後半は消化不良でした。力は付いたと思います。

【古文】単語帳はなんでもいいと思いますが「読んで見て覚える重要古文単語 315」を使っていました。学校で配られたやつよりも分量が少ないので気が楽でした。助動詞の接続や活用は、丸暗記です。何度も繰り返せば覚えられますし、忘れてしまっても、また繰り返せばすぐに思い出せます。

【漢文】試験のたびに、「漢文早覚え速答法」を一冊まるまる復習していました。残念ながら、パンダ本は使いこなせませんでした。

※塾は合わないと感じていたので、行きませんでした。※英単語や古文単語、漢文の句法は、すぐに覚えられるけどすぐに忘れます！ 試験のたびに全部復習するのをおすすめします。たぶん、これが一番大事。

※英語・国語以外は、本当に全部苦手だったので、何も言えません。

5. 高2まで

高校受験の時に、自分は勉強が出来ないのだと気づきました。今となっては母校に入って良かったと思いますが、元々は第2志望でした。高校では真面目に勉強しようと決意しました。しかし、自分は本当に勉強に向いていないようで、すぐ諦めました。定期テストの順位は、50位~95位の間でした。自分で勉強を頑張ったのですが、全然ダメでした。

古典や物理が特に酷く、ほとんど授業内容を理解できませんでした。世界史・日本史に関しては、勉強が思うように進まず、試験範囲を復習し終えたことがありません。

6. 高2のセンター同日模試の結果

国公立は受けなかつたので、3教科しか受けませんでした。()内は満点です。

【英語】筆記→146点(200点)、リスニング→42点(50点)

【国語】現代文→69点(100点)、古文→11点(50点)、漢文→12点(50点)

【日本史B】48点(100点)

この時の3科目の得点率は58%でしたが、本番では9割くらい取れました(全教科では80.1%)。同日模試を受けたときは「どうしよう、成績が上がる気がしない……」と思いましたが、意外と上がるものですね。

7. なぜ私立文系コースに進んだのか、なぜ国公立を受けることにしたのか

元々は、知人の影響で理系に興味があった(と思っていた)ので物理選択でした。しかし、勉強してもよく分からず、高2の2学期末では3点を取ってしまいました。また、高1の化学基礎では、化学部だったのに平均点を取れませんでした。それで、理系は向いていないと気づきまして、私は元々文系の学科にも興味があったので、思い切って文転することになりました。

私は極端なことが好きなんです。だから、0単(私立文系コースのこと)という甘美な響き(?)に惹かれて、物理クラスから0単に行きました。でも、日本史が克服できず、これでは有名な私大には入れないかと悟ったので、結局国公立を目指すことにしました。

3科目受験は一見楽そうだけど、極端な苦手科目があると、そこで大きな差がついてしまう。科目を絞れば成績が上がると思ったら、大間違いでした……私の場合は。

国公立は、確かに共通テストの科目が多いのですが、逆に言えば、得意科目で苦手をカバーできるということです(難関校の場合は別でしょうけど)。また、2次試験の科目が少ない国公立大学がたくさんありますから、**共通テストさえなんとかできれば**、私立より受けやすいかもしれませんね。

8. 高3

高3になれば嫌でも受験勉強に集中できると思ったが、そんなことはありませんでした。

夏休みは、1日10時間を目指して頑張ったけど、全く手応えがなかったです。

2学期は、頑張った時期もあったけど、全体的にあまり勉強していませんでした。本当にやる気が無かったので、入れるところに入れればよいなと思っていました。10月の時点で、その時受けようと思っていた国立大学(某大ではない)に入れる実力があったので、勉強をサボってよく化学部に行っていました。

年が明けると、さすがにヤバいと思ったので、1日10時間を目指して取り組みました。今までまともにやっていなかった理科や地理を、一気に詰め込みました。元々物理選択だったので物理基礎を使う予定でしたが、物理が嫌すぎて、結局生物基礎に切り替えました。この選択が正解だったかどうかは、よく分かりません。

共通テストの会場が、確か東大法学部の建物でした。あの部屋は、試験前にカメラで後ろから撮られるのですが、それがちょっと嫌でした。あと、リスニングの前の待ち時間が非常に長いと感じました。手応えは無かったけれど、試験が本当に楽しいなと感じました。2日間の試験が終わった後は、ニコニコしながら秋葉原のヨドバシに立ち寄った後、ウキウキしながら帰宅しました（よい子は、まっすぐ帰宅しましょう）。自宅で自己採点をしたところ、思ったよりも良くて、さらにウキウキしてきた。でも、ウキウキしすぎて調子に乗ってしまい、その後はほとんど勉強しなくなってしまいました。

共通テストの直前は頑張れましたが、終わった後は本当にやる気がなくなってしまって、私立はろくに対策をしないで受けたので、3校中2校落ちました（早稲田人間科学と法政社に落ちました、中央文はなぜか受かりました）。

で、前期の1週間前になって、ようやくヤバいなと思い始め、慌てて勉強を再開。ところが、その集中力は数日しか続かず、2日前と前日はやる気がなくなってしまった。でも、「今勉強しないと後で後悔するだろうな」と思ったので、ZARDの「負けないで」を聴いて頑張りました。ベタな応援歌だけど。

先輩方の合格体験記を読んでいると、自習室で勉強していた方が多いみたいですが、自習室は静かすぎて、私には合いませんでした。

9. 共通テストリサーチについて

共通テストを受ける前は、前期後期ともにS大学教養学部を受けるつもりだったのですが、共通テストの結果が思ったよりもよかったので、某大を受けることにしました。S大は後期でもA判定が出たし、共通テストの配点が高いから、ほぼ確実に入れるだろうなあと。某大は、東進ではA判定、他ではC寄りのB判定でした（東進は、2次の配点を加味して判定をします）。

A判定（合格率80%）とは、「あなたが10回受けたらそのうち8回受かる」という意味ではなくて、「あなたと同じくらいの点数だった人のうち、8割の人が受かる」ということです。念のため。

10. 本命校の試験の当日

古典の問題がすごく難しかったです。諦めないで何度も読み直したけど、本当に何もわかりませんでした。絶対に落ちたと思って、午後の英語はやる気をなくしてしまいましたが、なんか、受かっていました。

本番の問題が過去問と大きく違っていると焦りますが、みんな条件は同じなので、心配する必要はないです。ただし、問題が簡単だと感じた時は、注意してください。簡単なら他の人もみんな解けているはずなので、細かいミスが命取りとなるのです。

11. 私立文系コースに行った感想

私は、日本史で挫折したので0単（私立文系コース）から国立大を目指すことにしましたが、これを推奨しているわけではありません！ というのも、自分では理科や地理、数学の共通テスト演習をほとんどできなかつたので、共通テストがとても不安だったのです。共通テスト直前期は、0単に行ったことを後悔していました。学校の授業を受ければ必ず成績が上がるというわけではありませんが、授業を受けることで、大きな安心感が得られると思います。

今思えば、0単では素敵な仲間たちに出会えたので、0単に行って本当によかったと思います！ でも、選択肢がかなり狭まるので、私みたいにノリで選ぶのはオススメできません。

12. オススメの暇つぶし（?）

健康な人限定ですが、献血はオススメです。罪悪感なく暇つぶしができるだけでなく、社会貢献にもなって気分が良くなるからです。特に、最近は感染症の影響で、血液がいつも以上に不足しているようなので、とても需要が高まっていると思います。

（母校の最寄り）の駅前には たまに献血バスが停まっています、スタッフさんに声を掛ければ、やさしく案内してくれます。ジュースをたくさん飲みたいのであれば、バスよりも献血ルームがよいですね。学校の近くなら、秋葉原やソラマチにあると思います。

※献血、安全性は高いのですが、念のため試験直前期は避けましょうね。試験直後もダメ。私は試験直後にも行ったのですが、心拍数が高すぎて断られました。

※意外と条件が厳しいので、興味がある方は事前に HP をチェックしましょう。行ったのに断られたら、悲しいじゃないですか。

13. その他の注意点

試験時間が余ることもあるかと思います。必ず、時間ギリギリまで見直しをしましょう。あと、大事なときに限って突然頭が痛くなったりするので、必ずお薬を持って行きましょう。

試験科目や偏差値を調べる際には「バスナビ」というサイトが便利ですが、最終的には、各大学の公式サイトで正確な情報を集めるようにしてください。

14. 最後に

半分自分語りみたいになってしまっていて申し訳ないのですが、少しでもお役に立てたらうれしく思います。

最後になりますが、母校の先生方や仲間たちには、本当に感謝しております。特に、友人や学年団の先生方、今まで授業で関わった先生方、化学科の先生方の存在は本当に大きく、心の支えでした。ありがとうございました。母校の皆さんや、これを読んでくださった方々のますますのご発展をお祈りいたします。

以上